

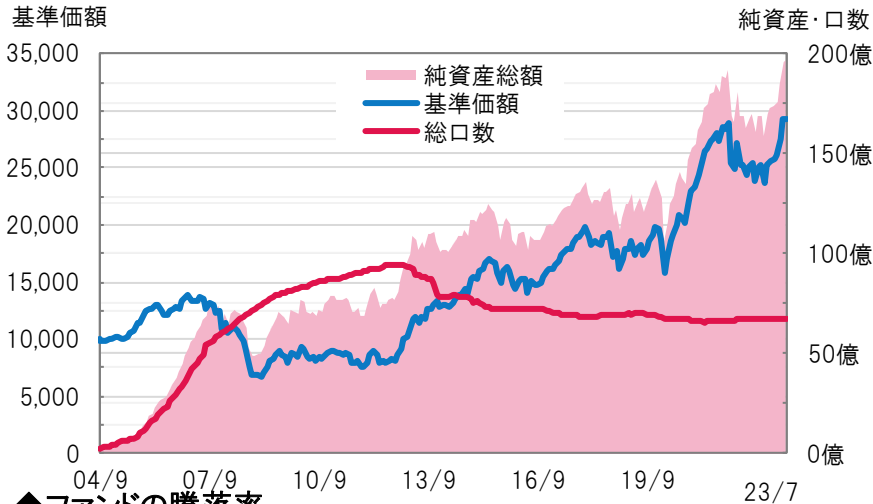


ありがとうファンド 月次運用レポート

第 228 号②【基準日 2023 年 7 月 31 日】



◆基準価額の推移



◆ファンドの情報

基準価額	29,334円
純資産総額	196億71百万円
口座数	4,965
積立割合	49.3%



REFINITIV LIPPER
FUND AWARDS

2022 WINNER
JAPAN

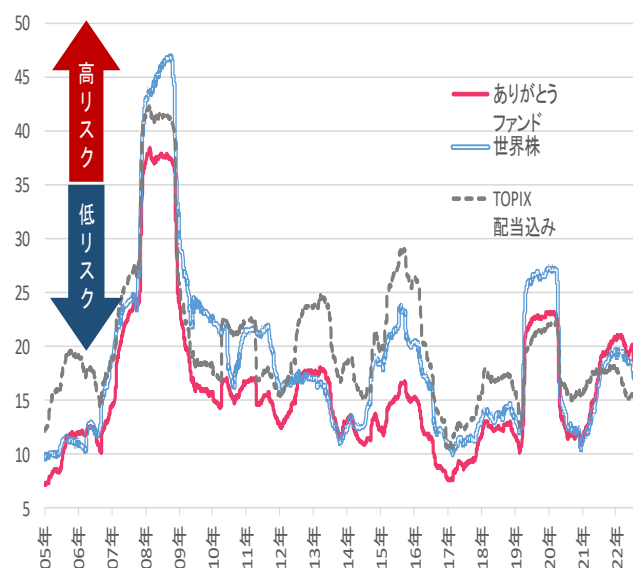


◆ファンドの騰落率

ファンド/参考指数	1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	年率複利	標準偏差	設定来
ありがとうファンド	+0.3%	+16.2%	+17.2%	+46.3%	+54.8%	+145.2%	9.30%	15.4	+193.3%
世界株 (配当込み、円)	+2.1%	+17.5%	+17.5%	+74.4%	+79.6%	+211.4%	11.92%	17.3	+464.7%
TOPIX配当込み	+1.5%	+19.2%	+23.0%	+66.9%	+49.6%	+156.6%	9.80%	16.1	+198.9%

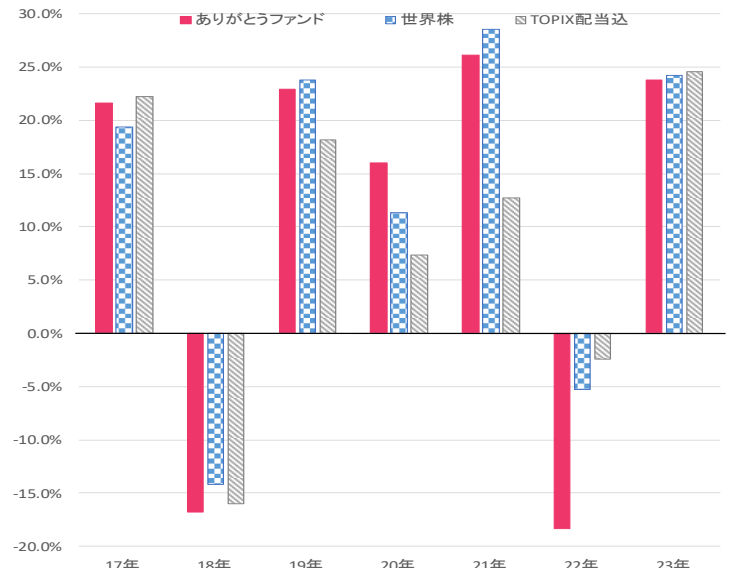
※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、過去 10 年間の月末時点基準価額データを基に弊社にて計算しております。設定来騰落率については、ありがとうファンド設定日の 2004 年 9 月 1 日からの騰落率になります。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

◆値動きの大きさの推移(250 営業日リスク推移)



※値動きの大きさの推移について: 設定来の日次リターンを基に過去 250 営業日のリスク(日次リターンの標準偏差の年率換算値)の推移を表したものの。簡単に説明すると、数値が高いほど日々の値動きの幅が大きいことを表し、逆に数値が低いほど日々の値動きの幅が小さいことを表します。ありがとうファンドは値動きの幅を低位に抑える運用を心掛けています。

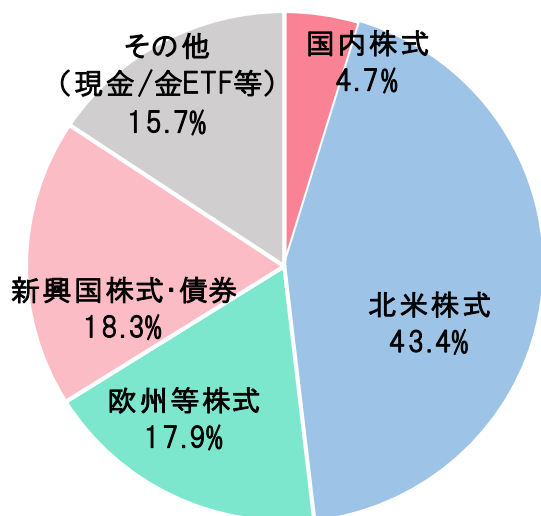
◆騰落率比較(2017 年年初～)



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

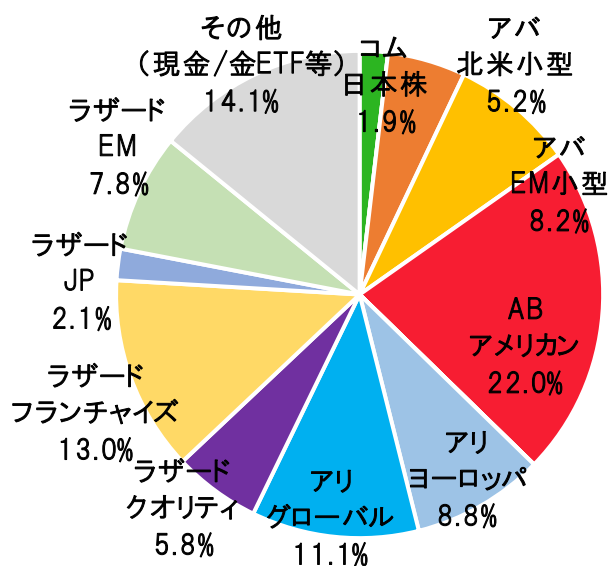
◆資産配分(6月末時点)



地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	4.7%	6%	-1.3%
北米株式	43.4%	45%	-1.6%
欧州等株式	17.9%	17%	+0.9%
新興国株式・債券	18.3%	22%	-3.7%
その他(現金/金ETF等)	15.7%	10%	+5.7%



◆ポートフォリオ(7月末時点)



◆アクティブシェア(6月末時点、原則四半期末開示)

ファンド名(略称)	アクティブシェア※	参考指数
コムジェスト日本株式	80%	TOPIX
アバディーン北米小型	95%	ラッセル2000
アバディーンEM小型	96%	MSCI EM スモールキャップ
ABアメリカン・グロース	60%	ラッセル1000グロース
アリアンツ・ヨーロッパセレクト	71%	S&Pヨーロッパ・ラージキャップ・グロース
アリアンツ・グローバル	85%	MSCI オール・カントリー・ワールド
ラザード・フランチャイズ	95%	MSCI ワールド
ラザード・クオリティ	87%	MSCI ワールド
ラザード・日本株式	76%	TOPIX
ラザード・新興国	54%	MSCI エマージング

※アクティブシェアとは、各ファンドのベンチマークもしくは参考指数に対して異なる割合を表しています。上記のアクティブシェアは各ファンドの運用会社の開示を基に掲載しています。



REFINITIV LIPPER
FUND AWARDS
2022 WINNER
JAPAN



ファンド大賞受賞
R&I Fund Award 2021

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◆直近のマーケット動向について

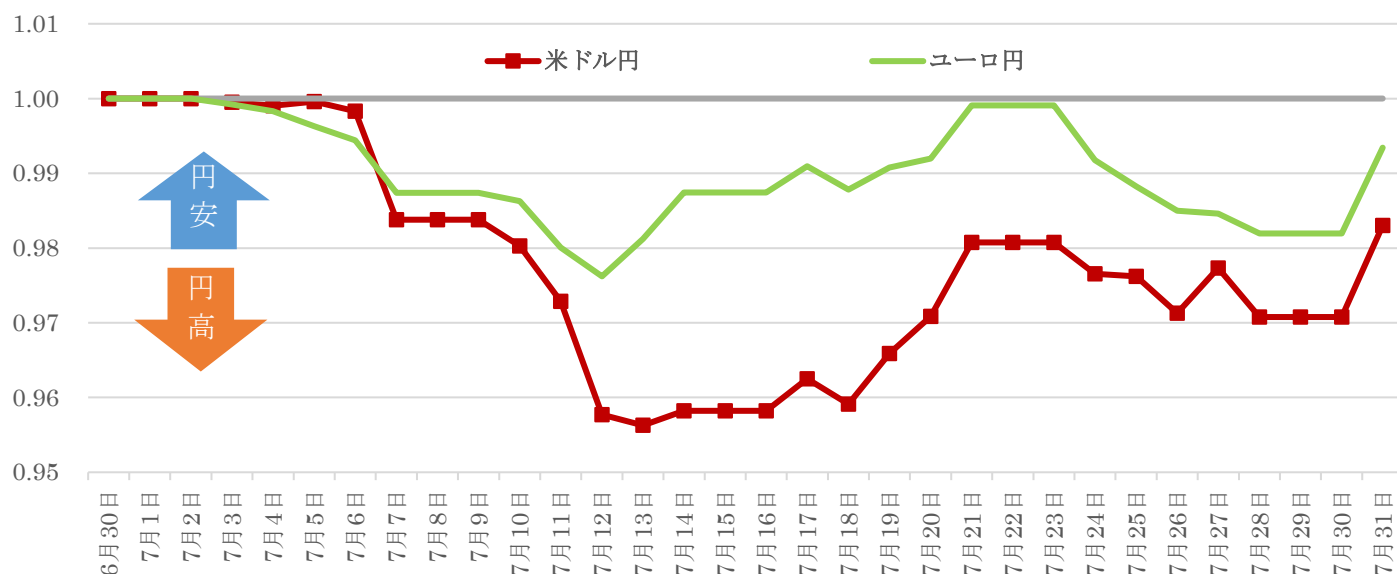


7月のマーケットはどうだったの？毎日暑くて困っちゃうわよ。これだけ暑い日が続いたら
ゆでガエルも目を覚ますかしら？

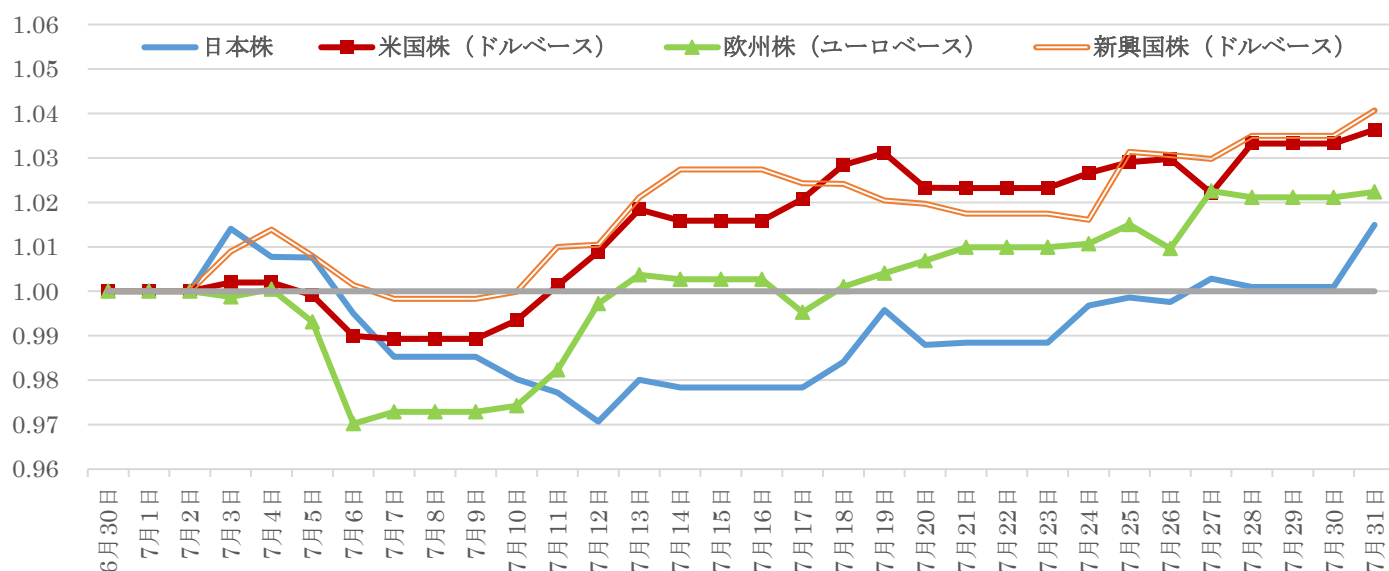


7月のマーケットの動きですが、今月も世界株式市場はおおむね上昇しました。特に米国株式市場では、AIブームへの期待による堅調なMATANA銘柄や米国経済のソフトランディング期待に支えられ、NYダウが13連騰しました。暑くて雨も降らない、しまいには除草剤なんてまかれたら街路樹が枯れるどころか砂漠になっちゃいますよね～

【米ドル円、ユーロ円推移】2023年6月30日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2023年6月30日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(使用している指数についてはレポート最終ページの注記を確認ください。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記の図を参照していただくとお分かりいただけますように、月中旬にかけて、主要通貨に対して円高傾向が急激に進行していますね。これは、日銀内田副総裁の YCC 修正についてのインタビュー記事や、米 CPI が予想比下振れしたことなどによる日米金利差縮小が意識された形になります。

ありがとうファンドの運用はどうでしたか？

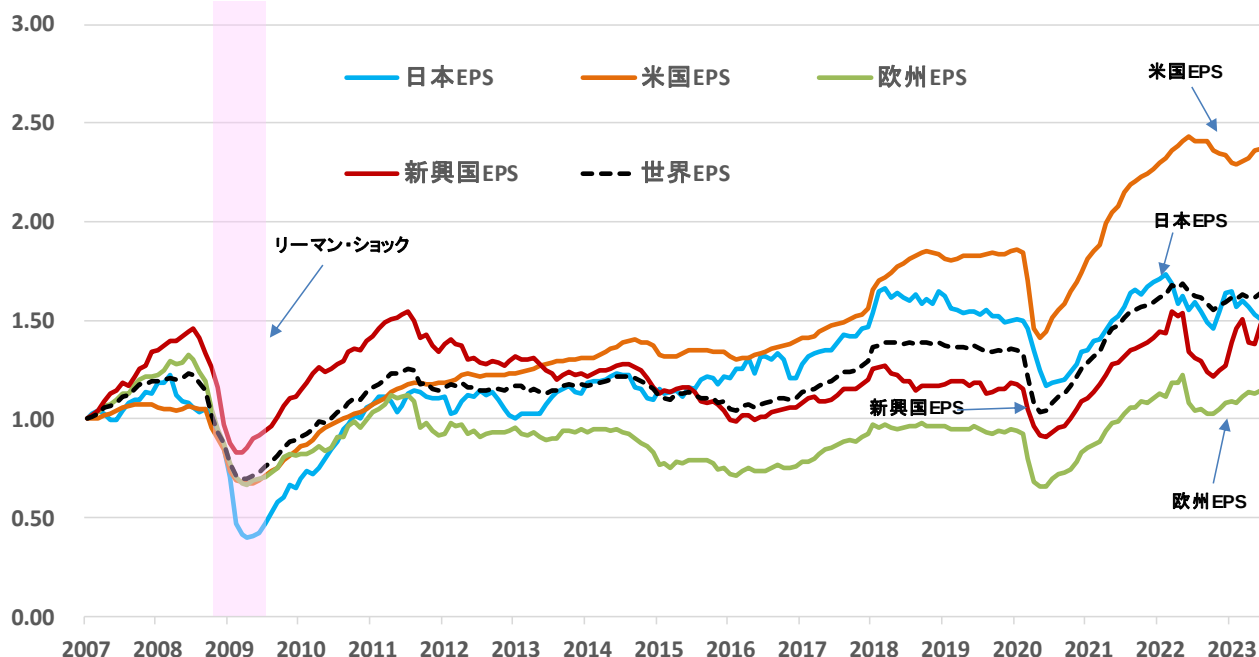
ありがとうファンドの月間騰落率は 0.3% の上昇となりました。世界株は 2.1% の上昇となりましたので、相対的に出遅れる 1 ヶ月になりました。参考までに日本株は 1.5% の上昇となりました。

今月の売買は、AB エマージング・マルチファンド全売却、アバディーンエマージングファンドを一部売却し、ラザードフランチャイズとラザードエマージングファンドを買い増しました。

今後の見通しについてはどうなっているのかね？教えてもらえないだろうか。

今後の見通しについては、各種地政学リスク・[新型コロナウイルス](#)など一過性のイベントなどで、短期的には景況感が下振れることがあっても、長期的にはファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の回復・成長のトレンドには変わりはないと考えております。

下図ではリーマン・ショック前からの4つの国・地域での EPS(1 株当たり利益)の水準をまとめました。いずれの国・地域においても固有のリスクはありますが、これからの[中長期での人口動態](#)や、GDP 成長率を見る限り、日本株式市場よりも[エマージング株式市場](#)や米国株式市場など外国株式市場の方が投資対象としては魅力があると考えています。



出所：ファクトセットより、ありがとう投信計算、EPS は 2007 年月末を 1 として指数化し 2023 年 7 月末までの推移
ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

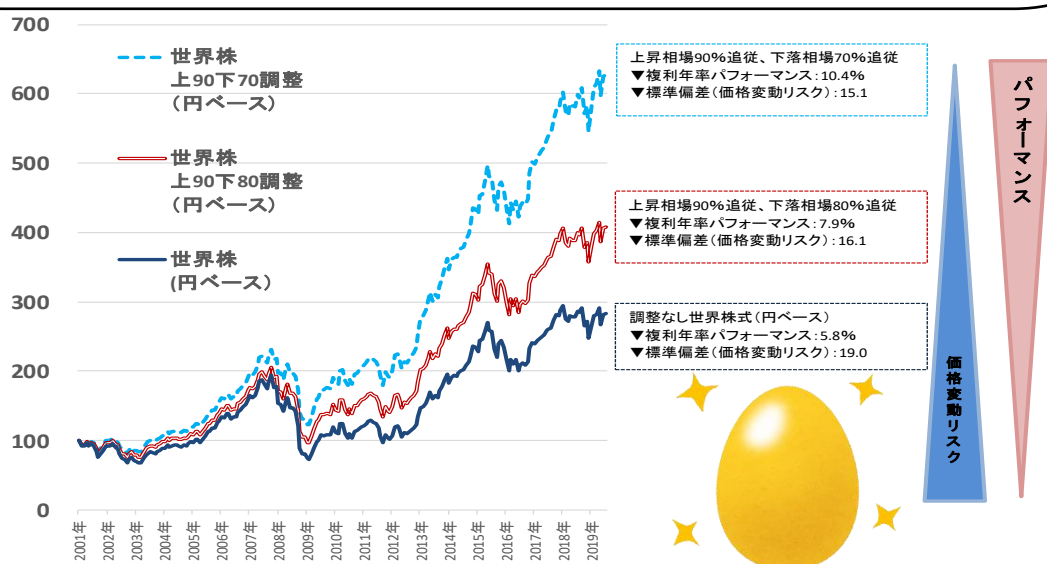


今後の運用方針についてはどうなっているのかしら。教えてちょうだい。



株式市場という観点から足元の状況を考えると、リーマン・ショック後各国・地域は量的緩和などの金融緩和で各々の経済・市場を支え世界的にカネ余りの状況が続いております。さらにその度合いはコロナショックによる財政出動も併せて政策総動員でさらに強まり、厳しい経済状況にも関わらず株価を下支えました。一方、足元では、金融緩和だけではなく長引くコロナ禍の供給制約なども合わせてインフレ圧力が強まり、米国などでは金融緩和の正常化が本格的に意識され、株式市場では調整ムードが広がっております。今後株価が短期的にどう動くかは誰にもわかりませんが、ありがとうファンドは、高値で売って、底値で買うといったタイミングを見て売買を繰り返すファンドではありません。あくまでも長期的な人口動態の変化に対応できる企業や、革新的な商品・サービスを提供できる企業など、今後の世界経済をリードするビジネスモデルを有した国内外の企業に厳選投資することにより、長期的な世界経済の成長を基準価額の上昇という形で享受することを目指しております。

アクティブファンドという上昇局面で大きく稼ぐといった様な派手なイメージが強いと思いますが、ありがとうファンドでは上昇局面で無理に上値を狙うといった運用よりは市場全体が下落する局面にて市場相対で下げ幅を抑制することにより結果的に長期で安定したパフォーマンスを提供できると考えております。その源泉としては、①実績のある投資先ファンドによる成長企業の厳選、②国・地域別資産配分の見直し・調整、③金ETFなど株式市場と相関が低い資産を組み入れることによる資産分散を主に考えております。下図はあくまでも参考までにですが、上昇局面では90%ほど市場に追従し、下落局面では下落幅を抑制した場合のバックテスト例になります。ダウンサイドリスクを抑制することにより、長期で価格変動リスクを抑えながら運用パフォーマンスを向上できたことが確認いただけると思います。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、株価は2001年1月末を100として指数化し2019年7月末までの推移

注：上昇・下落局面は月次騰落率ベースで判断。平均年率パフォーマンスと標準偏差についても月次ベースのデータから計算

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

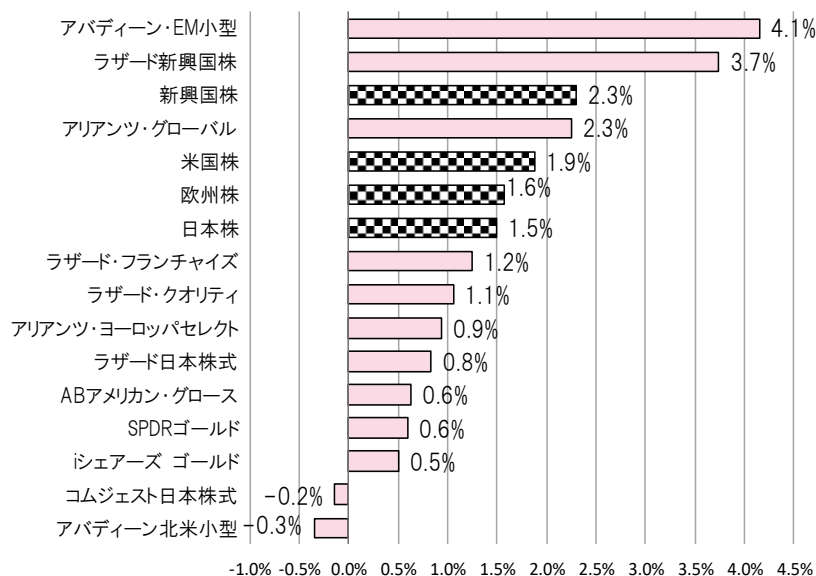


投資先ファンドの状況についても気になる！教えて！教えて！

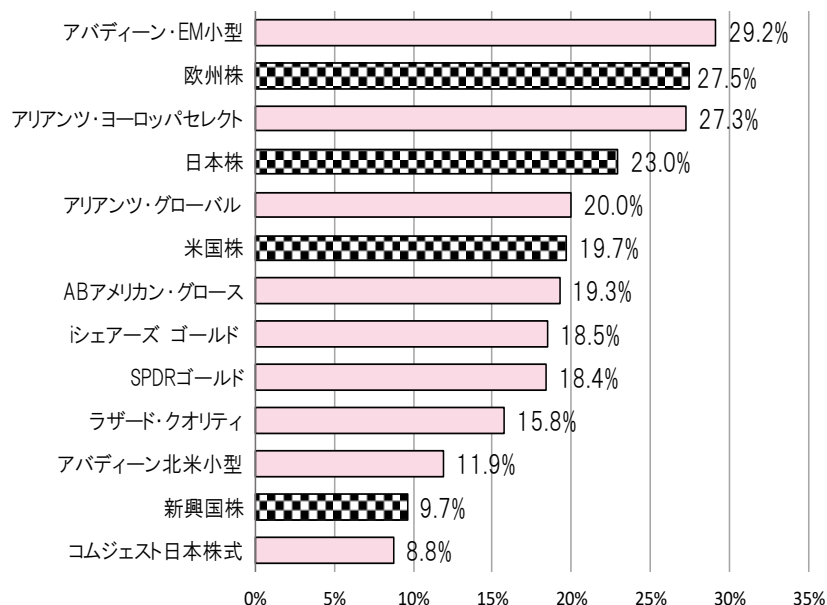


まずは、投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2023年7月末時点)

【月間騰落率】



【年間騰落率】



今月は冒頭述べたように米国株式市場だけでなく、中国当局による政策期待を背景とした中国株式市場の大幅上昇により、新興国株式市場も大きく上昇しました。当ファンドで投資している新興国株式ファンドも大きく上昇し、ありがとうファンドの基準価額上昇に寄与しました。一方、米国の金利高止まり懸念などから金利のつかない金ETFへの相対的な魅力度が低下し、出遅れる要因になりました。足もと逆風の金ETFですが、保有を継続したいと考えております。

●投資先ファンドの詳細は下記の『[ありがとうブログ](#)』をご参照ください→

[【米国株ファンド】](#)

[【欧州株ファンド】](#)

[【北米小型株ファンド】](#)

[【新興国小型株ファンド】](#)

[【世界株式ファンド】](#)

●厳選銘柄例：アイルランド企業

[世界最大級のコンサルティング企業：Accenture](#)

※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。（ありがとうファンド運用担当者）



◆投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	アリアンツ・グローバル グロース	世界	11.1%	+2.3%	+14.5%	+25.4%	+20.0%	+48.9%	+88.2%	+13.5%
2	ラザード・グローバル フランチャイズ	世界	13.0%	+1.2%	+9.4%	+16.5%				
3	ラザード・グローバル クオリティ	世界	5.8%	+1.1%	+12.1%	+17.8%	+15.8%			
	世界株 (配当込み、円)			+2.1%	+11.7%	+17.5%	+17.5%	+74.4%	+79.6%	+12.4%
4	ラザード・日本株式	日本	2.1%	+0.8%						
5	コムジェスト日本株式	日本	1.9%	▲0.2%	+5.5%	+5.7%	+8.8%	+13.5%	+27.8%	+5.0%
	TOPIX 配当込み			+1.5%	+13.1%	+19.2%	+23.0%	+66.9%	+49.6%	+8.4%
6	ABアメリカン・グロース	米国	22.0%	+0.6%	+15.2%	+27.6%	+19.3%	+74.0%	+139.4%	+19.1%
7	アバディーン北米小型	米国	5.2%	▲0.3%	+10.7%	+11.3%	+11.9%	+73.0%	+82.0%	+12.7%
	米国株 (配当込み、円)			+1.9%	+16.2%	+23.0%	+19.7%	+90.0%	+113.7%	+16.4%
8	アリアンツ・ヨーロッパ セレクト	欧州	8.8%	+0.9%	+8.8%	+22.4%	+27.3%	+61.5%	+75.1%	+11.9%
	欧州株 (配当込み、円)			+1.6%	+6.5%	+18.0%	+27.5%	+80.2%	+66.1%	+10.7%
9	ラザード・エマージング・ アドバンテージ	新興国	7.8%	+3.7%						
10	アバディーンエマージング小 型	新興国	8.2%	+4.1%	+20.3%	+23.9%	+29.2%	+78.8%	+73.0%	+11.6%
	新興国株 (配当込み、円)			+2.3%	+8.6%	+10.6%	+9.7%	+58.5%	+68.3%	+11.0%
11	iシェアーズ ゴールド・トラ スト・マイクロ	金ETF	3.8%	+0.5%	+3.0%	+11.2%	+18.5%			
12	SPDRゴールド・ミニシエ ーズ・トラスト	金ETF	6.1%	+0.6%	+3.0%	+11.3%	+18.4%	+33.0%	+101.9%	+15.1%

注：参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

【39紹介プログラムもあるよ♪】

(詳しくは『ありがとう投信ホームページ』>『39 紹介プログラム』をご覧ください。)

ご家族・ご友人

39紹介プログラム

紹介を受けた方がありがとう投信の
新規口座開設+定期積立1万円以上を
6ヶ月継続していただくことで
紹介したお客さまと紹介を受けた方に感謝の気持ちとしてプレゼント贈呈！

3/9
START!



◆各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロス

6月30日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 MICROSOFT CORP.	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	9.6%
2 VISA, INC.	アメリカ	金融	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高遠かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.3%
3 UNITEDHEALTH GROUP, INC.	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ソフトウェア、データコンサルティングサービスを提供する。	5.1%
4 ALPHABET, INC.	アメリカ	コミュニケーションサービス	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	4.7%
5 AMAZON.COM, INC.	アメリカ	一般消費財	オンラインの小売事業者。オンライン広告と提携クレジットカード契約など、他のマーケティングや販売促進サービスも提供する。	4.4%

◎ラザード・エマージングマーケット・エクイティ・アドバンテージ・ファンド

6月30日時点

銘柄	国	業種・種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1 TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	7.9%
2 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	韓国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	4.7%
3 TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	情報技術	ソーシャルネットワーク、音楽、ゲートウェイ・ウェブサイト、電子商取引、モバイルゲーム、決済システム、エンターテインメント、人工知能および技術ソリューションなどのサービスを提供する。世界各地で事業を展開。	4.6%
4 ALIBABA GROUP HOLDING	中国	一般消費財	オンライン販売会社。子会社を通じて、インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	2.7%
5 DELTA ELECTRONICS	台湾	情報技術	電源装置およびビデオディスプレイ製品のメーカー。主な製品は、スイッチング電源装置、電気通信装置、無停電電源装置(UPS)、AC モニタードライブ、高画質カラーモニター、プロジェクターなど。	2.1%

◎アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロス・セレクト

6月30日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	9.4%
2 DSV A/S	デンマーク	資本財	運輸グループ持株会社。トラック、船舶、航空輸送サービスや倉庫・ロジスティクスなどのサービスを手掛ける。欧州、北米、極東地域で事業を展開する。	7.8%
3 NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	90年以上にわたり糖尿病ケアの革新をリードしてきた製薬会社。インスリンのマーケットシェアは5割前後に達する。	7.2%
4 LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON	フランス	一般消費財	LVMHモエ ヘネシー・ヴィトン(LVMH Moët Hennessy Louis Vuitton SE)は、多角化した高級品のグループ、ワインやコニャックなどの酒類をはじめ、香水、化粧品、旅行かばん、時計・宝飾品の製造・販売を手掛ける。	5.6%
5 INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じ事業を展開。	5.1%

◎アバディーン・スタンダード・ノースアメリカン・スモーカーカンパニーズ・ファンド

6月30日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ATKORE INC	アメリカ	資本財	電子部品メーカー。金属製品および電気配線管ソリューションの製造、販売に従事する。主な製品は、銅管、電線用銅管、外装線、ケーブル、ケーブルトレイ、金属組立てシステム、建材など。世界各地で事業を展開。	4.0%
2 ENPRO INDUSTRIES INC	アメリカ	資本財	密閉用品、金属ボリマーベアリング、空気圧縮機システム、真空ポンプのほか、ディーゼルおよび天然ガスエンジン、特殊工具などを提供する。世界各地で製品を販売。	3.0%
3 CYBERARK SOFTWARE LTD	イスラエル	情報技術	情報技術セキュリティ・ソリューションを手掛ける。組織の特権アカウントをサイバー攻撃から保護するサービスを提供。	2.8%
4 ATS CORP	カナダ	資本財	産業用自動製造装置メーカー。ライフサイエンス、化学品、消費財、電子機器、食品、飲料、輸送、エネルギー、石油、ガスなどの業界を対象に、顧客の仕様に合わせた製品を設計・製造する。	2.8%
5 PERFICIENT INC	アメリカ	情報技術	ITコンサルタント会社。事業分析、ポータル、コンテンツ管理、事業統合、SOA、商取引、ビジネス・インテリジェンス、顧客関係管理(CRM)などのビジネス用ITソリューションを設計・納品する。	2.8%

◎アバディーン・スタンダード・エマージング・マーケット・スモーカーカンパニーズ・ファンド

6月30日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 UNIVERSAL VISION BIOTECHNOLOGY CO LTD	台湾	ヘルスケア	レーザー視力矯正機器とサービスを提供し、医薬品、光学ガラス及びコンタクトレンズの取引に従事する。	3.5%
2 CHROMA ATE	台湾	資本財	計測機器メーカー。電子・自動計測機器を製造、販売する。主な製品は、試験・計測機器、自動検査装置、パワーエレクトロニクス、無停電電源装置(UPS)、電気通信システム、工業用コンピューター、特殊材料など。	3.4%
3 SINBON ELECTRONICS CO LTD	台湾	情報技術	ケーブル、コネクタ、モデムを販売。製品の主な輸出先はアジア諸国、米国および欧州諸国。	3.3%
4 MAKALOT INDUSTRIAL CO LTD	台湾	一般消費財	衣料品メーカー。下着、バジャマ、スカート、ドレス、シャツ、ズボン、ショーツなどの衣料品を製造する。主に米国に製品を輸出する。	3.2%
5 PRESTIGE ESTATES PROJECTS LTD	インド	不動産	不動産会社。住宅、商業、小売スペースの建設、開発、賃貸に従事する。インドで事業を展開。	2.9%



◎コムジェスト日本株式ファンド
マザーファンド株式組入上位銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	7月31日時点 組入比率
1 ソニーグループ	日本	情報技術	電子製品を製造・販売し、関連ソリューションを提供する。テレビ、カメラ、携帯電話、オーディオ・ビデオ製品、ゲーム機器などを製造。ゲーム制作、映画制作、音楽制作、その他の事業も手掛ける。	3.9%
2 信越化学工業	日本	素材	汎用製品の代表格である塩化樹脂と、半導体シリコンの両分野で、世界トップシェアを持つ安定した高収益体質を誇る化学大手。	3.8%
3 オリックス	日本	金融	世界各地で総合金融サービスを提供する。主な事業にリースおよび住宅ローン、生命保険、銀行、消費者金融などがある。そのほか、環境エネルギー事業やプライベート・エクイティ投資事業などがある。	3.6%
4 ダイフク	日本	資本財・サービス	立体自動倉庫やコンベヤなど、搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられるマテリアルハンドリング(=マテハン)システム・機器のメーカーで、世界でトップクラスのシェアを持つ。	3.4%
5 キーエンス	日本	情報技術	FA(ファクトリーオートメーション=工場自動化)用センサーをはじめとする各種センサー、測定器、画像処理機器、制御・計測機器、研究開発用解析機器などの開発、製造、販売を行う。	3.4%

◎ラザード・ジャパニーズ・ストラテジック・エクイティ・ファンド

銘柄	国	業種	事業内容	6月30日時点 組入比率
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本	金融	傘下子会社を含むグループの経営管理ならびに付帯業務を行う。同グループは、主に商業銀行および信託、国際金融、資産運用、投資銀行などの投資融資サービスを提供。	5.5%
2 三井住友フィナンシャルグループ	日本	金融	同持株会社は傘下子会社の経営管理ならびに付帯業務を行う。また、同グループは主に商業銀行業務ならびに総合金融サービスを提供。	5.1%
3 日立製作所	日本	資本財・サービス	デジタル、グリーン、イノベーションを成長の柱として、金融・官公庁・通信向けITサービスやDXソリューション、エネルギー・ソリューション、鉄道システム、昇降機やビルサービス、家電・空調システムなど、広範囲に製品やサービスを展開。	4.5%
4 みずほフィナンシャルグループ	日本	金融	関連会社を通じて総合金融サービスを提供。同グループは一般銀行業務および、証券、信託、資産管理など多様な金融サービスを提供する。	3.9%
5 デンソー	日本	一般消費財・サービス	同社の製品にはカーエアコンやエアバッグ、イグニッションシステム、ジェネレーター、パワーステアリングシステム、各種リレーなどを含む。また、ハンズフリーキットやカーナビゲーションシステムなどの通信機器の製造も行う。	3.9%

◎アリアンツ・グローバル・エクイティ・グロース

銘柄	国	業種	事業内容	6月30日時点 組入比率
1 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	6.9%
2 MICROSOFT CORP.	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	5.9%
3 VISA, INC.	アメリカ	金融	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.1%
4 ADOBE INC.	アメリカ	情報技術	印刷および電子媒体で情報の伝達・使用が可能な製品を手掛ける。アプリケーションソフトウェア製品、印字用品のほか、情報作成・配信・管理用のコンテンツを提供。	4.9%
5 AMAZON.COM, INC.	アメリカ	一般消費財	オンラインの小売事業者。オンライン広告や提携クレジットカード契約など、他のマーケティングや販売促進サービスも提供する。	4.8%

◎ラザード・グローバル・エクイティ・フランチャイズ・ファンド

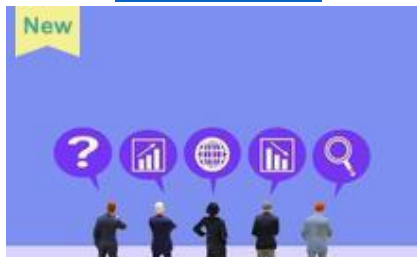
銘柄	国	業種	事業内容	6月30日時点 組入比率
1 COGNIZANT TECHNOLOGY SOLUTIONS	アメリカ	情報技術	カスタムITコンサルタント・テクノロジーサービス会社。アウトソーシング・サービスも手掛ける。	6.2%
2 EBAY	アメリカ	一般消費財・サービス	Eコマース会社。世界中の売り手が出品し、買い手が商品を検索・購入するためのプラットフォームを提供する。世界各地で事業を展開。	6.0%
3 H&R BLOCK	アメリカ	資本財・サービス	税務書類作成、会計、および消費財金融サービスを提供する。米国、カナダ、およびオーストラリアの顧客を対象に事業を展開。	5.8%
4 CVS HEALTH	アメリカ	ヘルスケア	総合ヘルスケア会社。ヘルスケアおよび小売薬局サービスを提供する。処方箋、美容、パーソナルケア、化粧品、ヘルスケア製品のほか、薬剤供給管理(PBM)、疾患管理、管理サービスを手掛ける。	5.8%
5 FRESENIUS MEDICAL	ドイツ	ヘルスケア	透析サービス・製品の提供会社。腎臓透析サービスを提供するほか、透析患者の治療用機器や製品の製造・販売に従事。臨床試験および診断用検査サービス、在宅輸血、呼吸治療、超音波、エコー放射線も提供する。	5.8%

◎ラザード・グローバル・クオリティ・グロース・ファンド

銘柄	国	業種	事業内容	6月30日時点 組入比率
1 MICROSOFT CORP.	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	5.4%
2 ALPHABET, INC.	アメリカ	コミュニケーションサービス	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	4.2%
3 ACCENTURE	アメリカ	情報技術	経営・技術に関するコンサルティングサービスおよびソリューションを提供。世界中の各業種を対象とした特殊技術とソリューションに従事。コンサルティングや技術のほか、アウトソーシング、提携事業も展開。	3.8%
4 AON	アメリカ	金融	リスクと保険のブローカー・コンサルタント業務に従事。顧客のリスク管理や別の保険会社へのリスク保険の交渉・販売のほか、健康保険、福利厚生、退職年金、報酬、戦略的人材管理、人材派遣などに関するコンサルタント業務を手掛ける。	3.6%
5 LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON	フランス	一般消費財	LVMHモエ・ヘネシー・ヴィトン(LVMH Moët Hennessy Louis Vuitton SE)は、多角化した高級品のグループ。ワインやコニャックなどの酒類をはじめ、香水、化粧品、旅行がば、時計・宝石類の製造・販売を手掛ける。	3.3%

【ありがとう39ブログ・シリーズ♪】

【厳選銘柄紹介】



2023年03月28日(火)

世界最大級のコンサルティング企業：Accenture(アイルランド)

トレンド 投資先パートナー

投資先ファンド・銘柄

運用トピックス

運用者メッセージ

【ありがとうトピックス】



2023年06月14日(水)

MATANA(またな!?)

運用トピックス

運用者メッセージ

【39クッキング】



2023年06月27日(火)

39クッキング【青春のトマト焼きそば】

ライフ

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◆ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.40% ± 0.3% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→ TOPIX 配当込み(税引き前配当再投資)

【世界株】→ FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)

【米国株】→ FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)

【欧州株】→ FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)

【新興国株】→ FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)



■R&I ファンド大賞について

「R&I ファンド大賞」は、R&I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&I が保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。